

令和 8 年度 始業式・入学式が行われ、新年度がスタートしました

4 月 7 日(火)に、令和 8 年度の始業式と入学式を行いました。

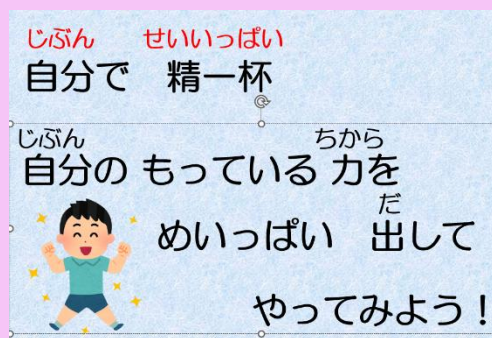
当日は曇り空ではありましたが、気温はそれほど下がることもなく、新入生・在校生ともに元気に登校する姿が見られました。

式には、新入生・在校生の保護者の皆さまに加え、日頃から地域でお世話になっている 19 名の方々に来賓としてご出席いただきました。

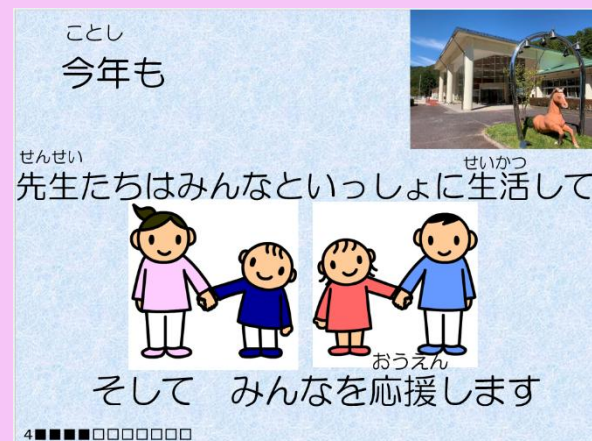


本年度は、中学部に 5 名、高等部に 2 名の新入生を迎えました。小学部から高等部までを合わせ、27 名の児童生徒が木曽支援学校で学校生活を送ります。

始業式では、神山明彦校長より、学校教育目標「(児童生徒も職員も)自分から自分で 精いっぱい」についての話がありました。



「自分の好きなこと、得意なことに取り組み、自分の良いところを伸ばしていきましょう」「先生たちは、みんなと一緒に生活し、そして、みんなを応援していきます」と、児童生徒への温かなメッセージが伝えられました。



また、4月から木曾養護学校から木曾支援学校へと校名変更したことについて「名前は木曾支援学校になりましたけど、ニックネームは『きそよう』です。なので、『きそよう』と呼んでもOKですよ。」と、校長先生から子どもたちに話がありました。

入学式では、校長より新入生一人ひとりの名前が紹介されました。また、新入生代表として高等部の生徒が挨拶に立ち、高等部に入学して頑張りたいことを堂々と発表しました。たくましさで成長を感じさせるその



姿に、会場からは大きな拍手が送られました。続いて、在校生代表として高等部生徒会長から、「皆さんが入学してくるのを楽しみにしていました」

と歓迎の言葉が贈られました。心のこもったメッセージに、こちらも温かな拍手が広がりました。

式の最後には、会場のみんなで校歌を歌い、新入生の入学を祝いました。木曾支援学校らしい、あたたかな雰囲気にもまれた入学式となりました。

本年度も、子どもたちが「明日を楽しみに今日一日を終えることができる」学校づくりを目指し、職員一同、力を合わせて取り組んでまいります。

